

2025年(令和7年)度 事業計画書 (v1.3版)

特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

I 事業期間

(自)：2025年(令和7年)4月1日～(至)：2026年(令和8年)3月31日迄

II 事業の実施方針

(1) 新規会員の確保

・2024年3月末現在、正会員が52名、準会員が8名、賛助会員は個人が8名、団体が1社で、会員総数は68名となり、前年比6名増の微増で終わった。

この中には2024年度、25年度の2年間、会費未納の方が居られ、未納が確定した場合には、定款の規定上自動的に退会となってしまうので更に減る可能性がある。

一昨年度より正式に京都大学より業務委託を受け、本格的に活動がスタートして3年目に入る訳で、今年度は更に力をつけて活動を推進してゆくためにも、従来以上に積極的に新規会員を募り、増やしてゆく必要がある。当法人のホームページをはじめ、講演会等での会員優遇の制度などの説明も積極的にいき、従来以上に会員確保に努めてゆく。また昨年度は地元とのつながりを太くする活動を進めてきたこともあり、この様な絆を通じて、今年度は更に会員数を増やす活動を進めて行きたい。

(2) 新規サポーターの募集と育成

・もう一つ今年度の重要な方針として、新規サポーターの募集、育成、増員を進めたい。

NPO活動を支えるサポーターの方々も、最近が高齢化が進んできており、世代交代を担う新しい人材の育成が急務となってきている。2023年11月に、サポーター養成講座を開催し、数名の新しいサポーター希望の方々が入られたが、今年度はこのような育成講座を数回開催し、次世代を担うサポーターの募集を進めて行く。また、昨年度は一部育成用テキストの見直しなどを行ったが、今年度は更に入られたサポーターの育成のためのマニュアル作りなど、組織としての体制作りを行ってゆく。

(3) 一般見学会の見学者増を目的としたプログラム変更

・一般見学会や団体見学会、また、出前講座等の運営は10年に渡るサポーターの経験と努力によって安定し、成熟の域に達していると考えている。

しかし、一般見学会については、2024年度事業報告でも申し上げた通り、ここ数年見学会の申込が減少し続けており、2024年度は申込者0で開催できなかった回が3回、開催できた日でも、1回当りの参加者は定員30名に対し、2022年度11.5人/回、2023年度8.2人/回、2024年度8.0人/回と減ってきている。

減少してきた理由は2024年度事業報告書「IV課題と特記事項」の項で述べた様な事が考えられるが、対応策として、2025年度上期の一般見学会を、概ね次の様な形でテスト的に行ない、見学者の推移をみる事にした。

① 開催頻度は従来通りとした。午前の部は従来通り、地震学の歴史を中心としたセミナーの内容とするが、従来の「ミニプログラム」を無くし、この分の時間をセミナーと地震計・屋上ツアーに割り振り、時間的に余裕を持たせた。

② 午後の部については地震学に拘らず、従来の「ミニプログラム」の内容を、更に充実させた内容でメインセミナーとし、あらかじめ開催日ごとにテーマを決めておいて、見学者にテーマを選んで参加して頂けるようにした。

下期にどうするかについては、上期の推移を見た上で再検討する。

(4) 好調な団体見学会の継続と地域との交流推進

・団体見学会については非常に堅調で、府内近隣の団体だけでなく、他府県からの見学申し込みも増えてきている。また、昨年度に引き続き近隣の小中学校等の見学会開催により地域との交流も深めていく。

(5) 出前講演会の依頼増加の施策と「新まんてんてらこや」の定常開催

- ・出前の地震防災講座の活動も増やすため、当 NPO ウェブサイトで申し込みを可能とする改善や、市の広報紙・チラシ配布などでも積極的に PR を行い、様々な場所へ出向いて出張講演の場を広げてゆく。
- ・NPO 会員が無料で参加できる「新まんてんてらこや」は、今年度は年度内に 4 回開催する。日程は原則として 6 月、9 月、12 月、2025 年 3 月の、各第 1 日曜日に実施する。また今年度より一般見学会と同様に、高槻市の後援認定を頂いて参加者を募ってゆく。

(6) 阿武山観測所敷地内の環境整備活動の継続

- ・阿武山観測所の約 10 万㎡に及ぶ広大な敷地内の境界の整備、樹木の伐採、草刈りや植栽など、訪問者の安全かつ快適な環境作りに努める「阿武山グリーンクラブ」も重要な活動を担っている。2024 年度はメンバーの安全対策強化策としてチェーンソーや草刈り機の安全な取り扱い方講習を有償で受講してもらった。今年度も阿武山観測所構内の安全で美しい環境づくりと、活動メンバーの増員に努めていく。
- また、2024 年度より活動をスタートした「森林整備グループ」でも、不定期ではあるが敷地内の樹木の管理、安全確保のための枝打ち、伐採などの活動を続けて行く。

(7) その他施策

- ・阿武山観測所に開局した「アマチュア無線局」に於いて、南極観測隊との無線交信にチャレンジする「南極チャレンジ」の企画を、今年度は京大ウイークスだけではなく、阿武山観測所の他の催しや、出張講演の展示ブースなどでも企画して、アマチュア無線に興味を持ってもらうことで観測所の知名度アップや活動にも関心を持って頂く機会にしたいと考えている。

(8) お客様とサポーターの安全管理対策の継続実施

- ・以前、見学会でお客様を案内中にサポーターの事故が発生した。サポーターメンバーも高齢化が進んでおり、更に見学者も高齢の方が多いため、現在は見学会の都度、サポーターメンバーの健康状態確認や、来客の見学ツアー時の安全注意などを行なっているが、2025 年度も継続実行して「安全第一」を実践してゆく所存である。

III 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事項

(1) (事業名) 一般見学会

(内 容) 事業方針でも説明した通り、今年度より一般見学会の形をテスト的に次の様に変更した。

・毎回午前の部は地震学の歴史講座と歴代地震計ツアーガイド及び、屋上展望案内を行ない、最後に大阪平野の地下活断層を CG 映像化したビデオを放映する。従来のミニプログラムを無くして、その分の時間を講座とツアーガイドに振り向け、時間的に余裕を持たせた。

・午後の部は、従来ミニプログラムとして行っていた「阿武山古墳」「観測所の建築」「観測所の自然」「防災クイズ」「西館ツアー」を、より充実させてメイン講座とし、その後、地震計の原理などを説明した後、歴代地震計と屋上展望案内を行うようにした。

以上のプログラムで、全体的に時間的余裕ができ、見学者も、地震学や阿武山古墳、観測所の建築など、自分の聞きたい内容を選択できるようになる。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 毎月第 2 土曜日/第 3 日曜日 (原則)

①10:00~12:00 ②13:30~15:30

(事業の対象者) 一般市民

(収 益) なし (参加費無料)

(費用) なし

(2) (事業名) 団体般見学会

(内容) 10名以上の団体を対象とする見学会。特に指定が無ければ従来の一般見学会の内容をベースに、団体の希望に応じて内容や所要時間等をカスタマイズできる見学会を開催する。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 随時受付。 10:00~16:00

(事業の対象者) 10名以上の一般市民(団体)

(収益) 参加費が必要な催しで当観測所を利用する場合は、1人500円程度の寄付をいただくなど有料化を主催者に交渉する方向で検討中。

(費用) なし

(3) (事業名) 出前講座(地震・防災講演会)

(内容) 地震や防災に関する一般向けの講演会を要請された場所へ出向いて行う。またオンライン会議機能を使ったネット講座も可能とする。今年度はホームページからの申し込みや広報誌、メルマガなどで積極的に出前講座を広報して活動する。

(場所) 地域自治体の公民館やコミュニティーセンターまたはオンライン開催

(実施日時) 随時

(事業の対象者) 一般市民及び自治会や団体等

(収益) 見込 50,000円(講演料1回基本10,000円×5回)

(費用) 見込 5,000円(交通費1,000円×5回)

(4) (事業名) 公開講座(新まんてんてらこや)

(内容) 一般市民向けの公開講座。各回さまざまな分野から講師を招き、最新の地震学や防災・減災に関する話題を提供して学びを共有する。

(実施場所) 阿武山観測所での対面・オンライン開催

(実施日時) 年間4回予定(6月、9月、12月、翌3月の、各第一日曜日)

(事業の対象者) 一般市民及び当NPO会員

参加費 一般一人500円、当NPO会員は無料

(収益) 1回当り一般参加者50名目標:50名×500円=25,000円

年4回開催:25,000円×4回=100,000円目標

(費用) Peatix(イベント会社)手数料(収益の4.9%+利用者数×99円)

1回当り50名参加で6,175円×4回=24,700円

(5) (事業名) ペットボトル地震計講座

(内容) 小学生を対象にした地震学と工作の講座で、地震計の仕組みを勉強し、ペットボトルを使って簡易な地震計を作成する。学校では体験できないような学習の場を提供し、子供達の学習意欲の向上を図る。令和6年度は下記①から④の講座以外に、新たな講座が開催できるよう、見学会参加者や広報誌、ホームページやメルマガなどで積極的にペットボトル地震計講座を広報する。

(実施場所) ①阿武山観測所

(実施日時) 7月20日(日)/21日(月・祝) 各日とも午前午後の2回

(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)

(収益) 10,000円(参加代1人500円の徴収を目指す×10人×2日)

(費用) 5,000円(材料費)

(実施場所) ②高槻市立総合市民交流センター(クロスパル高槻)
(事業の対象者) 小学4年～6年生(保護者同伴)
(収 益) 42,000円(講師2人・補助従事者6人)
(費 用)なし

(実施場所) ③人と防災未来センター(神戸市)
(実施日時) 8月2日(土)/3日(日)2日間予定/各日とも午前午後の2回
(事業の対象者) 小学4年～6年生(保護者同伴)
(収 益) 見込80,000円(講師/1日30,000円×2日+
参加費/資料代:1名500円×20人/日×2日)
(費 用) 見込40,000円(交通費30,000円、工具等配送料10,000円)

(実施場所) ④枚方市中央図書館(枚方市教育委員会)
(実施日時) 8月17日(日) 午後1回
(事業の対象者) 小学4年～6年生(保護者同伴)
(収 益) 25,000円(講師)
(費 用) なし

(6) (事業名) 阿武山観測所の環境整備活動

(内 容) 阿武山グリーンクラブ、及び森林整備グループが中心となり約10万平方メートルに及ぶ広大な観測所敷地内の境界整備や樹木の伐採、草刈り、落ち葉処理や植栽など、訪問者や周辺住民の安全かつ快適な環境作りに努める。また樹木の名前プレート設置など、自然観察ツアーの補助も行う。
(実施場所) 阿武山観測所敷地内
(実施日時) 阿武山グリーンクラブ:毎月金曜日、森林整備グループ:不定期
(事業の対象者) 見学者及び地域住民
(収 益) なし
(費 用) ユニフォーム製作費:150,000円

(7) (事業名) 地震防災講演会セミナー開催支援活動

(内 容) 阿武山観測所の2つの会議室を活用したセミナーや各種研修会など各種イベント開催を支援する。
(実施場所) 阿武山観測所
(実施日時) 随時
(事業の対象者) 一般市民および大学研究者、会員など
(収 益) 各案件で適宜見積り
(費 用) 交通費等

(8) (事業名) 教育関係者の研修、教育教材開発の支援事業

(内 容) 教育関係者の研修や教育教材開発のための支援を行う。
学生を対象に満点地震計を使った実習教育を実施する。
(実施場所) 阿武山観測所
(実施日時) 随時
(事業の対象者) 大学生、大学院生
(収 益) 各案件で適宜見積り
(費 用) なし

(9) (事業名) 第4回阿武山観測所と阿武山周辺の写真コンテスト開催

(学術、教育、文化・芸術の支援事業)

(内 容) 阿武山観測所や阿武山周辺を含む北摂地域で撮影された四季折々の写真を一般公募し、入賞者には賞金や記念品を贈呈。また、作品は当法人のホームページやガイドブックに掲載予定。こうした文化・芸術活動など、幅広いイベントを通して当法人のPRや新規会員の獲得にもつなげていく。

(実施場所) NPO 法人ウェブサイトおよび阿武山観測所

(実施日時) 9月頃から作品募集開始、12月締切り1月審査発表

(事業の対象者) 一般市民及び当NPO会員

(収 益) なし

(費 用) 20,000円+α

(大賞1名:10,000円、準大賞2名:5,000円×2、他郵送料等)

(10) (事業名)「阿武山観測所アマチュア無線局」開局

(内 容) 小学生以上の子供達やご父兄、アマチュア無線に関心のある方々を対象に、アマチュア無線の楽しさや防災に役立つ仕組みを多くの子供達、関心のある方々に体験して頂き、その楽しさと非常時には通信手段として役立つ事など学んで頂く。

(実施場所) 阿武山観測所 その他外部展示ブース

(実施日時) 随時

(事業の対象者) 一般の方々

(収 益) 観測所内で実施の場合はなし その他は各案件で適宜見積り

(費 用) なし 但し外部で実施の場合は交通費

(11) (事業名) NPO及び阿武山サポーター活動推進のための体制強化

(内 容) サポーター人材育成、安全教育、およびNPO事務局の強化を行う。

広報誌等でサポーターの募集をかけ、応募者を適切なカリキュラムで教育訓練する。

そのための教材作成や専門講師の手配を行う。

制服も新たに新調しサポーターのモチベーション向上を図る。

(収 益) なし

(費 用) ユニフォーム製作費:150,000円、教材作成費50,000円等

2. その他の事業

(1) (事業名) 地震・防災に関連する書籍や資材、物資の紹介と販売事業

(内 容) ①「阿武山観測所を紹介したガイドブック」

地震学と阿武山観測所の歴史、保存展示している歴代地震観測機器の解説。また昭和初期の歴史的な建築物を紹介や周辺の自然や眺望なども紹介。

②書籍「地震情報を読み解く」の販売。

(実施場所) 阿武山観測所やイベント会場

(実施日時) 見学会や講演会等イベント実施日

(事業の対象者) 一般市民及びイベント参加者など

(収 益) ①阿武山観測所ガイドブック 150,000円(500円×300部)

②地震学の書籍 300,000円(1,500円×200部)

(費 用) 印刷製本費 ① 52,000円(第3刷500部増刷)

(2) (事業名) 阿武山観測所の管理受託業務(請負業務)

(内 容) 京都大学防災研究所附属地震災害研究センターから、同センター所属の阿武山観測所の管理業務について、同観測所屋上排水溝清掃並びに観測所一般見学会の管理運営業務を受託して実施する。

(場 所) 阿武山観測所

(実施日時) 排水溝清掃は年2回、見学会は月2回(7、8月は1回)、年22回開催

(収 益) 459,030 円 (年度一括)

(費 用) 年度見込 463,400 円

・事務局員給与：374,400 円

(1 日 3 時間×週 2 日×月 4 週×12 か月×2 名 時給 1,300 円)

・定例会議事録作成等：89,000 円

以 上